

2025_0325「日本橋川の枝垂桜（写真）」日々の理科 3883号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

「日本橋川（にほんばしがわ）」というのは、名の通り日本橋の下を流れている川です。起点（最上流）は神田川からの分流店で、終点（最下流）は永代橋のすぐ近くで隅田川に合流する地点です。1964年の東京オリンピックの時、首都高速の突貫工事の「犠牲」になって、ほぼ全流路が高速道路の下にあります。空が見えるのは、起点と終点のごく短い区間だけです。

その起点の神田川から分流してすぐ、日本橋川は中央線のガード下をくぐります。その中央線鉄橋の詰めに見事なシダレザクラの樹があって、毎年3月下旬に満開になります。先日中央線に乗った時、車窓から満開の桜が見えたので、今朝早く「わざわざ」見に行ってきました。

シダレザクラにもいろいろと品種があるようで、ソメイヨシノ（東京に多いサクラ）よりも早く満開になると、少し遅れて満開になるものがあるようです。日本橋川のシダレザクラは前者で、ほかのサクラの見ごろがまだ先なので、私と同じように「わざわざ」写真を撮りに来ている人もいました。となりの中高年のご夫妻に聞いたら、「昨日中央線から見えてきれいだったので、水道橋でわざわざ降りて撮りに来たんですよー」と仰っていました。あー、同じようなこと考える方もいるんだなー、と思いました。「わざわざ桜」・・・なかなか風流が良いですね！

(2025年3月下旬／中央線水道橋・飯田橋間)

